

花尻町内新聞

発行責任者 赤井和彦
編集責任者 楠木忠司

町内会主催 防災教室を開催!!

3月16日(土)午前10時より、ききょう公園において町民約150人が参加し「防災教室」を開催しました。

屋外行事として、起震車での地震体験、土嚢づくりと土嚢積み、水消火器による消火訓練、竹担架での搬送体験、東日本大震災で活躍したウォーターパッカー車による飲料水づくり、防災スピーカーの通話テスト、そして、消防ヘリが上空に飛来し、旋回をしました。



起震車では、阪神淡路大震災の震度7の地震を体験しました。「なかなかかまうまいこと機の下に潜れぬよめ」と大人の弁と大人の弁。水消火器の取り扱い



的に向かって水消火器を操作する皆さん

1名が参加し 防犯パトロールを行う!

3月16日(土)午後8時より、ききょう町役員・編集委員会のメンバー11名が参加し、防犯パトロールを行いました。

みどり町方面と本町方面の2班に分かれ巡回に出発しました。巡回途中は町民に防犯を訴えるとともに公園や防犯灯を見て回りました。約50分でききょう公園



集会所を出発する参加者

少年消防クラブ 入退団式を行う

3月16日(土)、午前9時30分より町内集会所において、花尻少年消防クラブ入退団式が子ども達52名を始め、西消防署、白石消防団、町内会三役、育成会役員等約80名が参加して開催されました。

入退団式は子ども会育成会の井上副会長の司会で始まり、赤井町内会長より開



入退団式に参加した子ども達



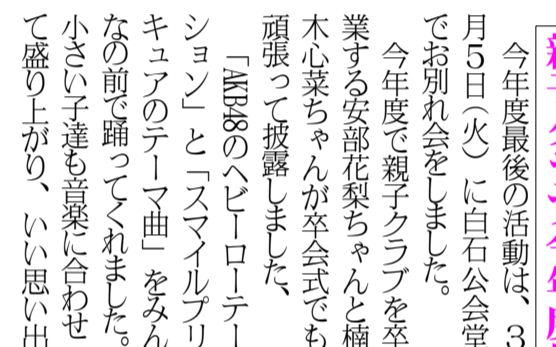
蘇生法の訓練を行う子どもや女性の皆さん

一方、集会所では、ファミリー人形を使つての蘇生法の訓練、一生懸命消防署の方の指導を受けていました。また、併せてAEDの取扱も勉強しました。

また、婦人部の皆さんにお手伝いを頂き、アルファ米の試食を行いました。思ったより結構美味しく、おかわりしている子ども達もいました。

親子クラブ今年度最後の行事を行う!

今年度最後の活動は、3月5日(火)に白石公会堂でお別れ会をしました。今年度で親子クラブを卒業する安部花梨ちゃん、楠木心菜ちゃんが卒業式でも頑張つて披露しました。「AKB48のヘビローテーション」と「スマイルプリキュアのテーマ曲」をみんなの前で踊ってくれました。小さい子どもも音楽に合わせて盛り上がり、いい思い出



今年最後の活動を行う親子クラブ

第4回岡山市消防団西部地区 線法訓練大会が開催される

東日本大震災から2年、3月10日(日)、撫川グラウンドにおいて、第4回岡山市消防団西部地区線法訓練大会が開催されました。

午前8時30分より開会式、終了後直ちに競技に入りました。白石団は小型ポンプの部の8番目に出場し(セツケン2が赤井清孝さん)、訓練の成果を十分発揮し、拍手が送られました。結果は、13分団中、6位(去年は8位)となりました。しかし、残念ながら岡山市の大会には出場できませんでした。出場した白石分団の皆さん、ご苦労様でした。



操法訓練大会で健闘した白石分団

陵南学区婦人会 友愛訪問会食会と演芸を盛大に開催!

3月3日(日)、午前10時より陵南コミュニティハウスにて学区婦人会主催の「友愛訪問 会食会と演芸」を開催しました。

この催しは、70才以上の一人暮らしの方を招待し、楽しい一時を過ごしていただくものです。

会は、刈田倫子副会長の司会で始まり、まず、民生委員の小塚弘一さんの開会の言葉。来賓を代表して波多洋治真議のお祝いの挨拶を受け、演芸に入りました。演芸の最初は「凜の会」の皆さんの唄、太鼓、三味線による演芸、太鼓のバチさばきや民謡、とても素晴らしい芸に大きな拍手が送

大いに盛り上がった笑いヨガの風景



大いに盛り上がった笑いヨガの風景

花尻チーム新人戦で3位に入賞す!

3月3日(日)、陵南学区新人戦が陵南小学校で開催されました。第1試合は強豪陵南平野と対戦し、良く健闘しましたが、6対0で敗れました。第2試合は白石チームと対戦し、大接戦の末、5対4で勝ち、3位という結果となりました。

選手の皆さん、これから頑張ってください。



3位に入賞した花尻チーム



婦人会手作りの食事を食べる参加者

2番目は「カラオケ」、きれいな声を披露しました。次は、「笑いヨガ」、会場全体を笑いの渦に巻き込んでいました。

学区体協主催 バトミントン大会開催される

陵南学区体協主催 第32回バトミントン大会が、3月3日(日)陵南小学校体育館で開催されました。

花尻チームは、7名が出場し、Bリーグで、平野GHと白石西Bと対戦し、1勝1敗で4位となりましたが、選手全員が白熱した試合をよく頑張りました。今年度の体協行事は終



バトミントン大会に出場した皆さん

幼稚園・小学校・中学校で卒業式

厳粛な中にも和やかに開催される!!

第66回吉備中学校卒業式厳粛に開催

卒業生は312名



横山吉備中学校長

吉備中学校の卒業式は、3月15日(金)に厳粛に執り行われました。午前10時より卒業式は始まりました。

開式の辞、国歌・校歌斉唱に続き、卒業証書授与式に移り、一人ひとりに担任の先生より卒業証書が手渡されました。

続いて、横山校長先生より「皆さんは、色々な学習や体験を重ね、色々な困難を克服しての道りだったと思います。中学校3年間の課程を終えて卒業証書を担任の先生から受け取っている姿を見て、3年前、入学した時と比べて本当に立派になったなあと、つくづく思います。私はその3年間を一緒に過ごすことができて非常に幸せに思っています。2年前の大震災を受けて色々な支援活動や交流



担任の先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました

活動にも参加をしてきました。その中で、人と人との絆というものもしっかり学んだと思います。今ある自分では決して自分一人だけの力ではない。色々な支えがあって、今の自分があると言っているのを忘れず、これからも自分の周りの人やものに感謝することを忘れず、自分の目標に向かって進んでいって欲しいと思います。」との式辞がありました。

その後、高谷市長、教育委員会祝辞、祝電披露、PTA会長はなむけの言葉と続きしました。

次に在校生を代表して安井梨沙さんより「3年生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。今先輩方の心の中には、この校舎で過ごしたかけがえのない数々の思い出が蘇っているのではないのでしょうか。部活動では大会やコンクールに向けて、懸命に努力する姿に、日々の練習の積み重ねがどれほど大切かということを教えてくださいました。また、被災地への支援活動や交流事業にも積極的に取り組まれ、交流を続けてこられた姿も強く印象に残っています。先輩方が築き上げてきた吉備中学校の伝統を守り続け、それを次の学年に伝えていきたいと思っています。それが私たちにできる先輩方への一番の恩返しだと思います。私たちがいつも先輩方を応援しています。今まで本当にありがとうございました。」との送辞が述べられました。

続いて、卒業生を代表して、渡代隆介君より「私たち3

12名は吉備中学校を卒業

いたします。私たちのためにこのように素晴らしい卒業式を開いてくださり、ありがとうございました。最高学年となった私たち、やるぞという気合いとできるのかという不安が入り交じってみんな複雑な思いの中で迎えた修学旅行。完全無欠を合言葉に一度きりの修学旅行をみんなと思いつき楽しんで、そのために何度も話し合っていました。一番印象に残っているのは民泊です。二天行事(体育祭・文化祭)が終って、余韻に浸るまもなく、受験という大きな試練と向き合うことになりました。朝早くから来て勉強したり、放課後残って判ら

ないところを教えあう姿が多く見られるようになりました。そんな時、力になってくれたのは両親や先生方、そして友人達でした。何気ない会話や笑顔にどれだけ励まされたことでしょうか。どんなときにも私たちを見守り、親身になって相談にのってくださいました先生方、生意気なことをいって困らせたり、言い争ったりしたこともありました。素直になれなくてごめんなきい。それでも優しく暖かい愛情を注いでくれたおかげで、ここまで成長することができました。」との答辞がありました。

続いて、卒業の歌、校歌を全員で歌い、最後に保護者を代表して蜂谷留美子さんより謝辞があり、1時間20分で卒業式は無事終わりました。

続いて、一人ひとりの名前が呼ばれ、平坂校長先生より147名の卒業生に卒業証書が手渡されました。

次に、平坂校長先生より「岡山市立陵南小学校平成24年度卒業生として巣立っていく147名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう



平坂陵南小学校校長

陵南小学校からは147名が巣立つ

陵南小学校の第33回卒業式は、あいにくの雨でしたが、3月18日(月)午前10時から厳粛に行われました。卒業生が入場した後、開会のことは、国歌斉唱と続き

続いて、一人ひとりの名前が呼ばれ、平坂校長先生より147名の卒業生に卒業証書が手渡されました。

「岡山市立陵南小学校平成24年度卒業生として巣立っていく147名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう



卒業生147名によるお別れの歌と言葉

陵南幼稚園では83名が元気に卒業

業証書授与式は3月19日(火)に行われました。

藤村園長先生より一人ひとりに「おめでとうございませう」と声をかけ、卒業証書が渡され、園児も「ありがとうございます」と元気に答えていました。

続いて、藤村園長先生より「今日園長先生は大事な卒業証書を受け取るあなたたちの姿を見て、本当に誇らしく思いました。この2年間で心も体も本当に大きくなりました。いよいよ4月から小学生です。幼稚園の楽しい思い出と良いところをたくさん持って元気に毎日小学校に通ってください。」とお祝いのことばがあり、続いて、平坂陵南小学校長先生より「このまま

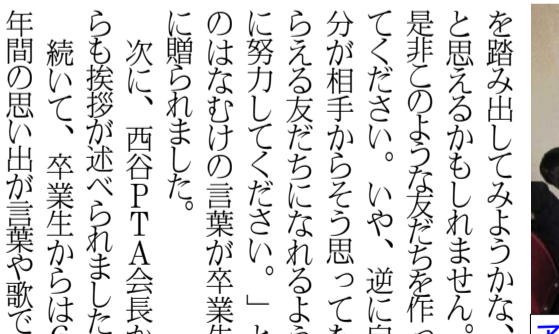
卒業生を代表して、保護者を代表して蜂谷留美子さんより謝辞があり、1時間20分で卒業式は無事終わりました。

続いて、一人ひとりの名前が呼ばれ、平坂校長先生より147名の卒業生に卒業証書が手渡されました。

だちというものに対する考え方は変わりました。仲良く遊ぶだけが友だちではない、本当に困っている時に優しく手を延ばしてあげられる人こそ本当の友だちだ、と思うようになりました。あなた方が中学校に進んだら、おそろしく勉強の面でも部活動の面でも小学校とは明らかに違う厳しさに直面すると思います。その厳しい状況に身を置きながら困難に立ち向かおうとした時、自分自身の力だけではがんばれそうにないと思うこともあると思います。そのよくな時に、自分のそばに励ましてくれる友だちがいたら、あるいはライバルとして負けたくない友だちがいたら、やっぱりもう一歩足

を踏み出してみようかな、と思えるかもしれません。是非このような友だちを作ってください。いや、逆に自分が相手からそう思ってもらえる友だちになれるように努力してください。」との言葉が卒業生に贈られました。

次に、西谷PTA会長からも挨拶が述べられました。続いて、卒業生からは6年間の思い出が言葉や歌で、



ア一子をくぐる卒業生と保護者の方々

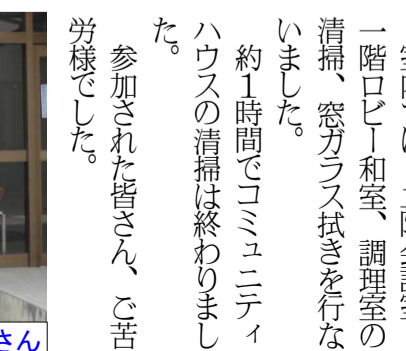
在校生からもお礼と励ましが歌と言葉で語られました。そして、しばらく教室で過ごした後、当日はあいにくの雨のため、外での行事ができず、多くの地域の人達や4・5年生が廊下でア一子をつくり、その中を在校生や先生、地域の人に見送られるが進みました。卒業された皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

小学校に入学してきてください。4月になったら皆さんが元気に小学校に入学してくるのを楽しみにしています。小学校ではしっかりと勉強して今よりもっと賢い子になりましょうね。」とお祝いの言葉があり、続いて、お別れの歌と言葉、園歌斉唱と続き、最後に保護者代表の謝辞があり、1時間15分で卒業証書授与式は終わりました



卒園式の後にはあちこちで記念撮影

3月19日(日)午前9時より町内会役員、各団体役員25名が参加してコミュニティハウスの清掃を行いました。いつものように男性は外回りを、女性はハウス内を担当し、それぞれに手際よく作業を進めました。外の清掃では今回は剪定を要する樹木は少なく、一階の窓ガラスを拭いたりしました。室内では、二階会議室、一階ロビー和室、調理室の清掃、窓ガラス拭きを行いました。約1時間でコミュニティハウスの清掃は終わりました。参加された皆さん、ご苦労様でした。



コミュニティハウスの清掃を行う皆さん